

令和6年度

「運営に関する計画・自己評価（最終評価）」
及び「学校関係者評価報告書」

大阪市立今福小学校

令和7年3月

大阪市立今福小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

I 学校運営の中期目標

現状と課題

I はじめに

○ 大阪市教育振興基本計画の基本理念

全ての子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力を備え、健やかに成長し、自立した個人として自己を確立することをめざします。あわせて、グローバル化が進展した世界において、多様な人々と協働しながら持続可能な社会を創造し、その担い手となることをめざします。

○ 令和 5 年度末に大阪市教育振興基本計画が見直されたことを受けて、令和 6 年度は本校の課題をより精選し、重点的に取り組むこととする。

2 子どもたちの最善の利益のために

【安全・安心な教育の推進】

○これまでの家庭・地域・学校が協力して教育活動にあたってきた成果が出ている。

・令和 5 年度全国学力・学習状況調査では、

「学校に行くのは楽しいと思いますか」肯定的回答の割合：92%

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」最も肯定的な「思う」と回答する割合：92%

「自分にはよいところがありますか」肯定的回答の割合：92%

いずれも令和 7 年度の大阪市の目標をクリアしている。

しかしながら、大阪市学力経年調査の結果（「2 中期目標の達成に向けた年度目標」参照）からは、年度や学年によって同様の質問での肯定的な数値が低く、課題が見られる部分もある。

特に自尊感情に関わる部分の数値に課題が見られることから、今年度も体験活動による豊かな心の育成に取り組むとともに、集団登校や縦割り班、異学年での活動等を多く取り入れることで自己有用感を高め、「自分にはよいところがある」ことを実感できるようにする。

○「いじめ」や「不登校」の課題については、年 3 回の児童アンケート調査や「心の天気」による日常の児童観察、毎月の校内委員会での情報共有を通して、早期発見・早期解決につながる体制が構築されているが、引き続き、人権を尊重する教育を進め、安全・安心な教育環境の実現をめざす。

○本校には支援を要する児童が多く在籍していることから、引き続き、インクルーシブ教育の充実と推進に向け、合理的配慮に基づく学習環境の整備を進める。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○ 本校は「学力向上支援チーム事業」重点支援校として、「国語」を研究教科とし、スクールアドバイザーによる授業力向上への支援を得ながら、国語を中心とした主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組んで 3 年目となる。

令和6年度においても、すべての学習の基盤となる言語能力の育成を継続して行い、自分の考えを持ち、表現する時間をしっかりと取り、友だちの考えと自分の考えを比べて共通点や異なる点を見つけていく活動や、様々な視点から自分の考えをより、まとめていく活動を取り入れるよう授業改善を行う。

- 基礎・基本の学習を積み重ねていき、自分に合った目標をもって ICT を活用しデジタルドリルに取り組んだり、漢字検定にチャレンジしたりするなど意欲をもって学習できるような環境を整えていく。
- 自主学習ノートの使用や、タフスペシャル教室の取り組みを通じて自ら学習する姿勢を身につけられるようにする。
- 外国語（英語）については、中学校の学習内容が小学校に下りてきている現状を踏まえ、1年生から6年生までモジュール学習を確実にし、また外部講師を招く機会を増やすなど、意欲的に学習できる環境を作っていく。
- 体育科の授業改善については、経年調査の結果からもわかるように本校の児童は、運動することは非常に好きである。その好きな部分をより伸ばし、自己肯定感の向上につなげていきたい。大阪市体育部などの協力を得ながら、体育実技研修会を行っていく。

【学びを支える教育環境の充実】

- 教育におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進のため、新たに「令和7年度の授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。」という目標が設定された。
学校での学習指導場面だけでなく、家庭での学習や、学習者端末での図書の閲覧など、ICTの効果的な活用について進めていく。
- 教員の長時間勤務については、本校は教職員の努力と保護者・地域の協力のもと令和7年度目標を達成している状況であるが、今後、学校環境整備に関する業務の追加も予想される。
さらなる業務の効率化や均等化を図り、より児童に関わる時間を確保し、授業の改善につなげていけるようにしていく。
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は令和5年度：71.6% 令和4年度：79.6%と、令和7年度目標の76.5%を達成できる水準にある。ただし、貸出冊数となると、令和7年度目標の38冊に対して、令和5年度23.5冊となっている。より児童が本を手にする機会を増やせるように、電子書籍サービスの活用も視野に入れながら取組を進めていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 1 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(令和5年度：92% 令和4年度：95.7%)
- 2 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。(令和5年度：92% 令和4年度：100%)
- 3 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。(令和5年度：92% 令和4年度：91.3%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 1 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を35%以上にする。(令和5年度：40% 令和4年度：47.8%)
- 2 令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的回答をする児童の割合を65%以上にする。(令和5年度：57.6% 令和4年度：59.3%)
- 3 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」において、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を62.6%以上にする。(令和5年度：55% 令和4年度：72%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 1 令和7年度の授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。
 - 2 令和7年度の教員の勤務時間の上限に関する基準Ⅰを満たす教職員の割合を56.4%以上にする。(令和5年度：89.5% 令和4年度：88.2%)
- ※基準Ⅰ：時間外勤務時間が、45時間を超える月数0、かつ、1年間の時間外勤務時間が360時間以下
- 3 令和7年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を76.5%以上にする。(令和5年度：71.6% 令和4年度：79.6%)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

1 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。【中期：85%】

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和5年度	88.9%	83.3%	72.2%	96.0%	85.9%
令和4年度	91.3%	79.0%	95.8%	86.4%	88.7%

2 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を86%以上にする。【90%】

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和5年度	83.3%	91.7%	72.2%	84.0%	83.5%
令和4年度	87.0%	78.9%	83.3%	90.9%	85.2%

3 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。【中期：77%】

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和5年度	77.7%	70.9%	66.7%	88.0%	76.5%
令和4年度	86.9%	63.2%	75.0%	81.8%	78.9%

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

1 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を43%以上にする。【中期：35%】

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和5年度	66.7%	41.7%	27.8%	36.0%	42.4%
令和4年度	52.2%	26.3%	41.7%	50.0%	36.1%

2 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。【中期：65%】

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和5年度	88.9%	41.7%	44.4%	60.0%	57.6%
令和4年度	73.9%	63.2%	70.8%	27.3%	59.3%

3 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を77%以上にする。【62.6%】

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和5年度	77.8%	83.3%	66.7%	76.0%	76.5%
令和4年度	78.3%	63.2%	83.3%	77.3%	76.2%

【学びを支える教育環境の充実】

1 授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。（令和6年度新規目標項目）

2 教員の勤務時間の上限に関する基準Ⅰを満たす教職員の割合を90%以上にする。（令和5年度：89.5% 令和4年度：88.2%）【中期：56.4%】

※基準Ⅰ：時間外勤務時間が、45時間を超える月数0、かつ、1年間の時間外勤務時間が360時間以下

3 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75.5%以上にする。【中期：76.5%】

	3年	4年	5年	6年	4学年計
令和5年度	88.9%	70.8%	66.7%	60.0%	71.6%
令和4年度	82.6%	78.9%	75.0%	81.8%	79.6%

大阪市立今福小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 1 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。 A 2 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を86%以上にする。 A 3 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。 A	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【2 豊かな心の育成】 豊かな心を育成し、自己肯定感を高めるため、ゲストティーチャーを招いたり、校外の施設を見学したりするなど体験活動を充実させる。	A
指標 年度末児童アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。	
取組内容②【1 安全・安心な教育環境の実現】 一人ひとりに寄り添う丁寧な指導を実現するため、教育環境の整備を進めるとともに、教職員が共通理解を図りながら組織的に対応できる体制を整える。	A
指標 ・年度末児童アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。 ・年度末児童アンケートにおける「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を86%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容① 【指標】 児童アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は、 <u>12月度は、81.4%（7月度89.0%）であり、年度末目標の77%以上を4.4ポイント上回っている。</u> 【取組の進捗状況】体験活動の実施状況 6月10日（月）田植え体験（5年）	

6月12日（水）トップアスリート（ダブルダッチ）による夢授業（全学年）
 6月14日（金）17日（月）アマービレフィルハーモニー管弦楽団による音楽鑑賞会（全学年）
 7月17日（水）SNSの使い方講座（全学年）
 9月3日（火）オリックスバッファローズ選手によるキャリア教育講話（5・6年）
 9月10日（火）読書活動（お話の会）（全学年）
 9月19日（木）ニッセイ名作シリーズ（ミュージカル鑑賞）（4年）
 10月28日（月）音楽鑑賞会（いずみホール 5・6年生）
 10月31日（木）米作り脱穀体験（5年生）
 11月12日（火）韓国・朝鮮の文化体験（2・3・5年生）
 11月19日（火）こころの劇場ミュージカル鑑賞（6年生）
 11月21日（木）茶道体験（4年生）
 12月10日（火）落語・講談鑑賞（4・5・6年）
 1月28日（火）キザニア甲子園卒業遠足（6年生）
 2月3日（月）吉本興業による漫才体験（4・5・6年）
 2月4日（火）トンボ玉づくり（4年）、お香づくり（5年）
 2月14日（金）プログラミング体験（4年生）
 2月21日（金）唐木フォトフレームづくり（6年）

取組内容②

【指標】

・児童アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は、12月度は90.7%（7月度95.0%）で年度末目標の87%を3.7ポイント上回っている。

・児童アンケートにおける「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は、12月度86.6%（7月80.0%）で年度末目標の86%を0.6ポイント上回っている。

【取組の進捗状況】

教育環境の整備

- ・理科（3～6年）、外国語活動、外国語科（3～6年）、音楽科（5・6年）、家庭科（5・6年）、習字（3・4年）に専科担当教員を配置し、3～6年の算数科に習熟度少人数担当教員を配置し、丁寧な指導を図っている。
- ・放課後週3日を基本として、学習会を実施している。全児童の4割ほどが登録している。今年度は、夏季休業日の学習会についての案内を全児童に告知して、1週間学習会を実施した。
- ・特別支援コーディネーターを中心に、特別支援サポーターや学びサポーターが国語算数の学習時間に入り込み指導をできるように手配したり、習熟度別少人数担当中心に、少人数での算数科の指導を行ったりして、一人一人に合った学習を行っている。

教職員が共通理解を図りながら組織的に対応できる体制

- ・児童理解のための校内委員会（毎月）、人権研修会（5月）の実施。
- ・不登校児童対応委員会を設置し（8月）、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携したケース会議を実施（10月、12月、1月）。
- ・いじめの考える日の設定（5月）、いじめアンケートの実施から聞き取りを学期に1回実施。
- ・特別支援学級在籍児童の情報交換を定期的に実施。
- ・職員朝会（水・金）時に、児童の様子を共通理解する取組の推進。

次年度への改善点	
<p>・取組内容①②ともに、年度末目標を達成した。全教職員が安全・安心な教育の推進に向けて努力を重ねてきた成果と考える。特に、いじめに対する児童意識が、7月よりも12月に向上しているのは、日々の教職員の指導の賜物である。</p> <p>・体験活動の充実については、それぞれの活動が学校教育目標、めざす子供像・学校像の達成に資するものなのか検証する必要がある。</p> <p>・教育環境の整備について、専科制を推進し、よりよい授業づくりを進めていく。また、放課後学習についても、令和7年度は継続がされるので、令和8年度以降も見越した運営の形を検討していく。</p>	
年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>1 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を43%以上にする。A</p> <p>2 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。A</p> <p>3 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を77%以上にする。C</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の取組を進める。</p> <hr/> <p>指標 年度末児童アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を43%以上にする。</p>	A
<p>取組内容②【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>全学年で、児童がより英語に親しめるように、モジュール学習の充実や外部講師を招いた学習を増やすなどして英語活動の取組を進める。</p> <hr/> <p>指標 年度末児童アンケートにおける「外国語（英語）の勉強は好きですか」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。</p>	A
<p>取組内容③【5 健やかな体の育成】</p> <p>体育科の実技研修会等を実施し、体育授業の改善の取組を進める。</p> <hr/> <p>指標 年度末児童アンケートにおける「運動(体を動かす遊び・を含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を77%以上にする。</p>	C

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①

【指標】 アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は、12月度48.5%（7月度53%）で、年度末目標（43%以上）を5.5ポイント上回っている。

【取組の進捗状況】

・校内研究テーマを「みんなが主体的に取り組む国語科の授業づくり～読む力を高め、表現力を育成する～」と定め、研究を進めてきている。柱の一つである「授業を共有化（シェア）する」場の工夫で、ペアトーク、グループトーク、全体での共有と国語科に限らず表現できる場を設定する取組を今後も継続していく。

取組内容②

【指標】 アンケートにおける「外国語（英語）の勉強は好きですか」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合は、12月度88.6%（7月度90%）で、年度末目標（60%以上）を28.6ポイント上回っている。

【取組の進捗状況】

・外国語活動専科を設置し、3～6年の外国語活動、外国語科の授業に限らず、朝モジュールのコーディネートや、1，2年生のECC講師による英語学習もアレンジを担うことで、英語活動の取組を推進している。ECCの講師派遣についても、年8回確保し、今年度は1学期から実施している。

取組内容③

【指標】 児童アンケートにおける「運動（体を動かす遊び・を含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合は、12月度75.3%（7月度75%）で、年度末目標（77%以上）を1.7ポイント下回っている。

【取組の進捗状況】

・体育科の実技研修会（なわとび研修会）を12月23日に実施した。体育科の授業公開の案内にも努め、よい授業を見て学ぶことを通じた体育科授業力の向上を図っていくことで、運動好きな児童の増加を図る。

次年度への改善点

・国語科の研究を通じて、全教科にわたって表現力の育成を目指した授業を意識した取組ができたことにより、目標を達成できた。来年度も児童の実態に合わせた研究体制を構築する。

・外国語についても、専科教員を配置し、ALTとも綿密な打ち合わせを行えたことにより、児童にとって楽しい外国語授業が実現できた。

・体育科の授業改善については、研修が少なかったこともあり、来年度は学期に1回のペースで研修が行えるようにしていく。

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>1 授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。C</p> <p>2 教員の勤務時間の上限に関する基準Ⅰを満たす教職員の割合を90%以上にする。 ※基準Ⅰ：時間外勤務時間が、45時間を超える月数0、かつ、1年間の時間外勤務時間が360時間以下 A</p> <p>3 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75.5%以上にする。A</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>心の天気による児童理解や授業や家庭での学習等において、学習者端末の効果的な活用について研究する。</p> <hr/> <p>指標 授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。</p>	C
<p>取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>校務分掌の見直しや人員の適正な配置、SKIPの活用などによる業務改善を進めていくことで、勤務時間の適正化を図る。</p> <hr/> <p>指標 教員の勤務時間の上限に関する基準Ⅰを満たす教職員の割合を90%以上にする。</p>	A
<p>取組内容③【8 生涯学習の支援】</p> <p>図書館の開館時間を増やしたり、読み聞かせをしたり、電子書籍サービスを活用したりして、読書への関心を高める取り組みを進める。</p> <hr/> <p>指標 年度末児童アンケートにおける「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75.5%以上にする。</p>	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>取組内容①【6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>【指標】</p> <p>・授業日における児童の8割以上が学習者端末を活用した日数は、 7月：23.1% 8月：0% 9月：0% 10月：0% 11月：0% 12月：0%で、 <u>年間授業日の50%以上には達していない。（12月までで、4日達成／143日）</u></p> <p>【取組の進捗状況】</p> <p>・心の天気の入力状況については、2学期から2学年（2.3年生）で毎日入力できるようになってきているが、他学年では進まなかった。</p> <p>・家庭学習においては、学習者端末を活用した取組は進んでいない。紙媒体との併用の方法を模索していく必要がある。</p>

取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

【指標】

教員の勤務時間の上限に関する基準Ⅰを満たす教職員の割合は、94.1%で年度末目標の90%を4.1ポイント上回っている。

【取組の進捗状況】

- ・教職員の協力のもと、専科制の推進などにより受け持ち授業時数が削減され、時間外労働時間の削減に寄与している。
- ・メンター研修も、メンター担当中心に、教育指導員に指導していただいたり、管理職も講師として研修をしたりして、充実化を図り、若手教員のスキルアップにつながっている。

取組内容②【8 生涯学習の支援】

【指標】

・児童アンケートにおける「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は、12月度85.6%（7月度87%）で年度末目標の75.5%を10.1ポイント上回っている。

【取組の進捗状況】

- ・図書館司書による読み聞かせ（朝読書の時間、図書の時間）の取り組みの継続。
 - ・電子図書サービス「School E-Library」を7月に導入。
- 7月 PV 数：1,639(内訳 1年：214 2年：140 3年：639 4年：102 5年：347 6年：197)
8月 PV 数：315(内訳 1年：44 2年：0 3年：214 4年：29 5年：27 6年：1)
9月 PV 数：462(内訳 1年：6 2年：43 3年：323 4年：83 5年：7 6年：0)
10月 PV 数：442(内訳 1年：28 2年：13 3年：312 4年：76 5年：10 6年：3)
11月 PV 数：480(内訳 1年：128 2年：0 3年：235 4年：51 5年：65 6年：1)
12月 PV 数：318(内訳 1年：16 2年：0 3年：60 4年：82 5年：0 6年：160)

※PV 数は日別で1ページでも開いた本の数（閲覧数）です。例えば、PV 数が5の場合は5冊の本を開いた（読んだ）もしくは1冊の本を5日開いた（読んだ）ことです。

※導入前後の図書室での貸出冊数は、6月288冊、7月348冊、9月247冊とそれほど大きな変化は見られない。

次年度への改善点

- ・教育 DX は、教職員の業務改善の視点と、児童の学習の個別最適化の視点を合わせて取り組んでいく。具体的には、デジタルドリルの活用による成績処理簡易化を進める。
- ・勤務時間については、来年度は低学年から専科制を導入し、全学年での業務のシェアを進めていく。
- ・読書の取り組みについては、電子図書サービスの効果について検証し、継続するかどうか判断する。その他学級文庫の充実など読書環境の充実を図っていく。

令和6年度 学校関係者評価報告書

大阪市立今福小学校学校協議会

Ⅰ 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。小学校学力経年調査や児童・保護者アンケートの結果から、学校が丁寧な教育活動を行っていることが伺える。しかし一方で、「体力」「読書」「一人一台端末の活用」に課題があり、引き続き、組織的な取組が必要である。

2 年度目標(全市共通・学校園)ごとの評価

年度目標:安全・安心な教育の推進

取組内容①、②の達成状況において、どちらも目標を達成することができていた。体験活動や校外学習については、来年度から総合的読解力カリキュラムの本格実施がされることから、活動を精選していく必要がある。

年度目標:未来を切り拓く学力・体力の向上

取組内容①、②における達成状況において、概ね目標どおり達成できている。表現力育成を全教科にわたって取り組んできたことや、外国語をはじめ専科指導を充実させていったことがきめ細やかな学習指導につながった。また、大阪市学力経年調査でも、3・4・5学年において大阪市平均を上回ることができており、これまでの取組の成果として評価できる。一方で、運動に対する評価は、目標まであと少しの結果となった。体育科授業をはじめ体力向上の取組を今後も進めていく必要がある。

年度目標:学びを支える教育環境の充実

取組内容②、③における達成状況において、概ね目標どおり達成できているが、取組み内容①の一人一台端末の活用については課題があり、今後は活用を促進する取組が必要である。教員の働き方改革をより一層推進していくために、ICTの活用を検討していく必要がある。

3 今後の学校園の運営についての意見

特記事項なし